

北薩感染症情報

2024年第21週(5月20日～5月26日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	16	7	1.00	↓	—	—	—	—	→	—	
	COVID-19	—	—	—	10	11	1.57	↗	—	4	14	2.80	↗	—	
小児科定点	RS	—	—	—	—	3	0.75	↗	—	1	3	1.00	↗	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	11	10	2.50	↓	◎	16	17	5.67	↗	◎	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	6	31	7.75	↗	—	31	53	17.67	↗	◎	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	15	23	5.75	↗	—	6	7	2.33	↗	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	—	—	↓	—	1	—	—	↓	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	62	65	16.25	↗	◎	17	19	6.33	↗	◎	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	1	3	0.75	↗	—	—	—	—	→	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	3	—	—	↓	—	1	3	1.00	↗	—	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	/	/	/	→	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	1	6	6.00	↗	—	/	/	/	→	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告	—	—	—	—	—	/	→	—	—	—	/	→	—		
指定医療機関からの COVID-19入院報告	—	—	—	—	—	/	→	—	1	1	/	→	—		
報告数合計	—	—	—	126	159	/	↗	/	78	117	/	↗	/		

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル), 手足口病(警報レベル)
- ・出水保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル), A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報レベル), 手足口病(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 結核2例, A型肝炎1例
- ・出水保健所管内 ウイルス性肝炎2例

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

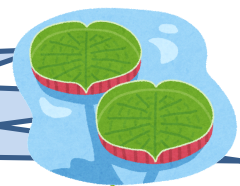
- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	20W	21W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	27.43	24.71	9.29	4.86	1.86	0.29	0.29	1.00	2.29	1.00
	COVID-19	—	—	4.43	4.14	2.57	2.71	2.57	2.14	1.00	2.00	1.43	1.57
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.75	0.25	—	4.00	2.00	0.75	1.00	0.75	—	0.75
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	8.25	6.25	8.00	8.00	5.25	5.50	3.50	4.50	2.75	2.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.50	2.00	0.25	2.50	3.75	3.50	2.75	3.25	1.50	7.75
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	7.25	6.50	5.75	4.25	3.75	4.75	2.25	2.50	3.75	5.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.50	0.25	—	—	—	0.25	—	0.25	0.25	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	0.75	3.50	2.50	2.50	6.75	15.50	16.25
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	—	0.25	0.75	0.25	0.50	0.25	1.00	0.25	0.75
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	0.25	—	0.25	—	0.75	—
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	4.00	3.00	3.00	3.00	5.00	5.00	1.00	4.00	1.00	6.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	20W	21W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	9.20	17.20	6.00	0.20	0.20	—	—	0.20	—	—
	COVID-19	—	—	4.40	5.20	3.40	1.40	3.80	0.60	1.80	1.60	0.80	2.80
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	1.00	0.33	0.33	—	0.67	0.33	0.33	0.33	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	5.00	5.33	5.33	4.00	1.33	3.67	3.67	6.33	5.33	5.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	5.00	6.33	3.00	9.67	9.33	13.67	9.33	8.33	10.33	17.67
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	4.00	5.33	1.67	1.33	1.33	0.67	0.33	1.67	2.00	2.33
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	0.33	2.00	0.67	2.67	5.67	6.33
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	0.33	—	—	—	0.33	0.33	—	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	0.67	0.67	1.33	0.33	1.00
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第 21 週に関して、川薩においては咽頭結膜熱と手足口病，出水においては咽頭結膜熱と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎，手足口病が引き続き警報発令中です。また，インフルエンザ様症疾患における学級閉鎖等はありませんでした。夏風邪の流行が始まる時期になりました。流行する前に予防をしっかりと行い，感染しないように努めましょう。また，大人は感染しても症状に現れにくく，気づかいうちに乳幼児へ感染症をうつしてしまったり，ウイルスや細菌を媒介してしまう可能性があります。乳幼児とふれあう機会のある方は特に感染対策を心がけましょう。アルコール消毒は効果が弱いものもありますので，過信せず，流水とせっけんでの手洗いも徹底しましょう。

海外渡航は感染症にご注意ください



- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・経皮(創傷)感染
- ・媒介感染 etc.

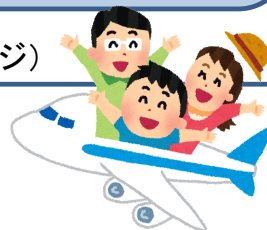
海外旅行は危険なの...?

日本と外国では、気候や衛生環境、生息する動物など、環境が異なり、感染症の流行状況も日本とは違います。そのため、日本で流行している感染症の対策だけでは不十分であり、外国で流行している感染症に旅行中または帰国後にかかる可能性があります。

海外旅行を楽しい思い出にするために、旅行先の衛生環境や流行している感染症について調べ、予防策を立ててから出発しましょう。

(出典 厚生労働省検疫所FORTHホームページ)

海外旅行では何が原因でどうやって感染することが多いの...?



●食べ物

汚染された食べ物や水の摂取、感染者と接触することで感染します。旅行客の下痢の原因の多くは食べ物からうつる病気と言われています。

- 【対策】・トイレ後や帰宅後、調理前、食べる前の手洗いを徹底する
- ・生水は飲まず、ミネラルウォーターや沸騰した水を飲む(氷も安全な水から作る)
 - ・口に入れるものは必ず加熱調理されたものとし、サラダや生野菜は避ける



●虫

昆虫などの虫に刺されたり、咬まれたりすることで虫の持っている病原体がうつります。

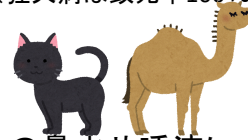
- 【対策】・虫除け対策を行う
- ・虫からうつる病気が流行している地域で発熱した際は早めに医療機関を受診する
 - ・予防接種(日本脳炎、黄熱など)や予防薬(マラリア)携行を検討する



●動物

病気を持っている動物を触わる、排泄物に汚染された食品を食べる、咬まれたり引っ掻かれたりすること等で動物が持っている病気がヒトにうつることがあります※狂犬病は致死率100%

- 【対策】・動物にむやみに近づかない、触らない
- ・動物の排泄物が多い牧草地帯では、飲食物への注意を厳重に守る



●人

咳をした際に吐き出される飛沫(病原体が含まれるしぶき)を吸ったり、人の鼻水や唾液にさわると、その病原体が口から入ることです。

- 【対策】・予防接種を受ける
- ・咳をしている人や病気の人にはあまり近づかない



●性行為

異性間、同性間の性行為で感染し、泌尿生殖器に症状が現れます。男女で症状が異なる場合があります。薬が効きにくい性行為感染症もあります※HIV感染症が世界中で爆発的に増加中

- 【対策】・ゆきずりの性行為は断る(特に売春街では感染率が高い)
- ・コンドームを正しく利用する

●環境

傷口から細菌が侵入します。傷がなくても、病原体のいる土ぼこりを吸い込んだり河原や湖畔を裸足で歩くと寄生虫が皮膚を食い破ったりして体内に侵入します。

- 【対策】・怪我をしたら適切な治療を受ける
- ・安全が確保できない場所では裸足で歩かず、危険地域では淡水(川、湖沼など)遊びはしない
 - ・土ぼこりなどからうつる病気のみられる地域には近づかない



【一覧】海外で注意しなければいけない感染症

主な感染症	注意すべき病原体	主な発生地域	媒介生物				予防方法		主な症状		
			リゾット 蚊咬傷	節足動物	節足動物 咬傷	昆虫・動物	その他	予防措置	発熱	下痢	その他
食べ物 水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	十分な量の清潔な水を飲む 生水は避ける	●		発熱、黄疸（尿の色や 白目が黄ばむ）	
	★ A型肝炎	世界各地（特に、水道設備が 整っていない地域）	●	●	●			●		発熱、黄疸（尿の色や 白目が黄ばむ）	
	★ 赤痢	世界各地（特に、水道設備が 整っていない地域）	●	●	●		十分な量の清潔な水を飲む 生水は避ける	●	●	腹痛、下痢	
	★ 腸チフス	世界各地（特に、水道設備が 整っていない地域）	●	●	●			●	●	発熱、比較的長い （高熱）に比較的症状が重なり やすい	
	★ コレラ	世界各地（特に、水道設備が 整っていない地域）	●	●	●			●	●	嘔吐、下痢	
事故・ケガ	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	破傷風やケガに注意する	●		熱み込み、しびれ、けいこ、 全身けいこ	
蚊	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域（アジア、ア フリカ、中南米）	○	○	●	●	蚊刺しを避ける 蚊刺し防止剤の使用 蚊刺し防止剤の使用 蚊刺し防止剤の使用	予防薬（飲み薬）	●	○	発熱、けいこ 頭痛、悪寒
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域（アジア、オ セアニア、アフリカ、中南米、 中南米）	●	●	○	○			●	○	発熱、けいこ 頭痛、悪寒
	■ チクングニア熱	東南アジア、南アジア、アフリ カ、中南米	●	●	○	○			●		発熱、けいこ、頭痛、悪寒、 関節痛
	■ ジカウイルス感染症	アジア、南アジア、南アフリ カ、カリブ海地域、アメリカ大 陸、太平洋地域	●	●	○	○			●		発熱、けいこ、頭痛、悪寒、 皮膚発疹
	■ 黄熱	アフリカ、中南米		○	○	○			●		発熱、けいこ、 頭痛、悪寒
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ ヨーロッパ南部 アフリカ、中東、アジア	●	●	●	●			●		発熱、けいこ、頭痛、悪寒
	■ 日本脳炎	アジア		●	●	●			●		発熱（痛みや神経に由来しない）、 意識障害、痲痺
ノミ	■ ペスト	アフリカ、アジア、アメリカ大 陸		●	●	●	ペスト菌（ペスト菌、ペスト菌）の感染 を予防するための予防接種を受ける ペスト菌（ペスト菌、ペスト菌）の感染 を予防するための予防接種を受ける ペスト菌（ペスト菌、ペスト菌）の感染 を予防するための予防接種を受ける		●		発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
	■ 狂犬病	世界各地 （特にアジア、アフリカ）	●	●	●	●			●		発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
	■ 狂犬病	アジア、アフリカ		○	○	○			●	○	発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
動物	■ MERS	中東	●	○	○	○			●	○	発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
	★ 麻疹	世界各地 （特にアジア、アフリカ、中東）	●	●	●	●			●	○	発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
	★ 風しん	世界各地 （特にアジア、アフリカ）	●	●	●	●			●	○	発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
	■ ポリオ	中東・アフリカなど		○	○	○			●	○	発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
	■ エムボックス	世界各地	○	○	○	○			●		発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
人	★ 新型コロナウイルス感染症	世界各地	●	●	●	●	マスクの着用、手指衛生		●	○	発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
	■ レプトスピラ症	世界各地		●	●	●			●		発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹
沼や湖河川	■ 血吸虫症	アジア、アフリカ、中南米など			○	○	泳ぐ（川や湖）での水遊びを避ける		○	○	発熱、頭痛、悪寒、 リンパ腺腫脹

●：最も注意を払うべき病原体
○：比較的、感染のリスクが低い病原体
●：感染する確率が多いので十分に注意
○：感染する確率が少ないが注意が必要
●：動物と接触する機会が多い場合に十分に注意
●：予防接種、手指洗い、手指消毒
●：マスクの着用、手指衛生、手指消毒

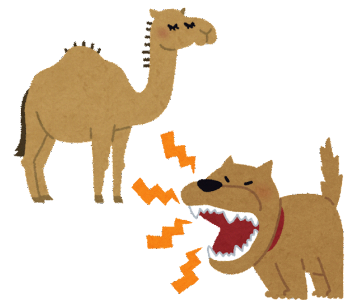
感染しないようにするには...？



①生水・氷・フルーツは避け、加熱されたものを食べましょう。



②無理のないスケジュールを心がけましょう。



③動物には近寄らないようにしましょう。



④麻薬やゆきずりの性行為ははっきり断りましょう。



⑤服装に気をつけ、虫除けグッズを所持しましょう。



⑥マスク着用や手指消毒をしましょう。

キケンな蚊、どうする蚊？

さされないために何ができる蚊？

長 袖、長ズボンの服を着用し、肌を出さないよう心がけましょう。

虫 よけスプレーや蚊取り線香、殺虫剤を積極的に使いましょう。

夕 方はもちろん、昼夜も、また都市部（特に家の中）でも注意しましょう。

さされるとどんな病気にかかるの蚊？

マ ラリア
【症状】
寒気、発熱、息苦しさ、目の充血、嘔吐、頭痛、筋肉痛
【特徴】
全世界で年間、2億人の患者、約43万人以上の死亡者が報告されています。
媒介する蚊は、山間部や田園地帯を中心に日没後に出没します。夜間の外出は注意しましょう。
【媒介する蚊】
ハマダラカ

ジ カウイルス感染症 **デ** ング熱 **チ** クングニア熱
【症状】
発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛
【特徴】
3つの感染症は似た症状を示しますが、ジカウイルス病は、症状が比較的軽いです。
東南アジアやアフリカ、中南米などの、熱帯・亜熱帯地域で流行しています。
媒介する蚊は日中、都市部（時に家の中）にも出没します。
流行地域では虫除け剤の使用や、長袖・長ズボンを着用して素肌を露出させない等、蚊に刺されないように注意しましょう。
【媒介する蚊】
ネッタイシマカ
ヒトスジシマカ

海外でさされたら何をすべき蚊？

海 外で蚊にさされて熱が出た場合は、できるだけ早く医療機関を受診してください。

帰 国時に発熱や心配な症状がある方は、検疫所の担当者にご相談ください。

鹿児島県全体にも
発令されました！

手足口病の警報が発令されました！

・飛沫感染
・接触感染
・経口感染

手足口病とは...?

手足口病とは、ウイルス(コクサッキーウイルスA6, A16, A10 やエンテロウイルス71が原因であることが多い)を病原体とし、手や足、口に水疱場の発疹(水ぶくれ)ができる感染症です。まれに中枢神経系(脳や脊髄)の合併症を引き起こします。ワクチンなどはありませんので、予防をすることが大切です。

乳幼児はこれらのウイルスに感染した経験のない者が多く、衛生観念が未発達なことや濃厚接触が生じやすいため、幼稚園や保育園は集団感染が起こりやすく、特に注意が必要です。

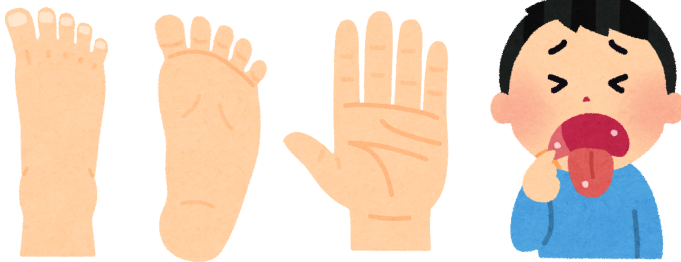
原因病原体:コクサッキーウイルス(A6,A16,A10)やエンテロウイルス(71)等
ヒト-ヒト感染:あり

症状:水疱性発疹(手, 足, 口), 発熱, 手足の爪の脱落など

潜伏期:3~5日

流行時期:夏(7月下旬がピーク)

【水疱が現れる部位】



足の甲 足の裏 手のひら 口の中

- ・上記部位に2~3mmの水疱が出現
- ・報告数の約90%は5歳以下の乳幼児
- ・成人も感染するが不顕性感染(ウイルスに感染しているが症状がない)が多い
※不顕性感染の場合でもヒトにうつす可能性はある

NG



水ぶくれは潰さないようにしましょう...!

潰してしまい、内容液に触れたら、他のところに触れてしまう前にすぐに手を洗いましょう。

回復してからもウイルスは排出されているので、注意しましょう。

- ・飛沫, 鼻汁:回復後1~2週間
- ・便:回復後数週間~数ヶ月



ならないようにするには?

- ・流水と石けんによる手洗い
(特にトイレやおむつ交換後)
- ・うがい
- ・咳エチケットの励行
- ・タオルや食器の共有を避ける



6月1日～6月7日は
HIV検査普及週間です！

- ・性行為感染
- ・血液感染
- ・母子感染

HIVとは...?

HIVとはHuman Immunodeficiency Virus(ヒト免疫不全ウイルス)のことです。このウイルスが体内に侵入し、免疫にかかわる細胞に感染すると日和見感染症(本来なら自分の免疫力で抑えられる病気)を発症します。これがエイズです。ワクチンはありませんが、現在は様々な治療薬が出ており、きちんと服薬することでエイズ発症予防が可能です。

原因病原体: HIV(ヒト免疫不全ウイルス)

ヒト-ヒト感染: あり

症状: 数年～数十年自覚症状なし

(2～4週間後にまれに発熱, リンパ節の腫れ, 頭痛等の風邪症状)

潜伏期: 数年～数十年



感染者と同じトイレやお風呂などを使用しても感染することはありません。

現在, 献血された血液は厳重な検査により最高水準の安全が確保されています。



性行為による感染を防ぐため, コンドームを正しく使用しましょう。
※オーラルセックスでも感染の可能性があります。

保健所での取り組み

保健所では無料・匿名でHIVの検査が可能です。

HIV検査普及週間においては夜間・休日検査を実施いたします。

各保健所で日程が異なりますので, 次頁および鹿児島県ホームページをご覧ください。

※要予約



**感染の機会から3ヶ月以上経過していない場合,
確実な検査結果が得られません。**

※3ヶ月未満で検査してしまうと, 体内で作られた抗体の量が少なく,
検査で検出できない場合があります。

(感染していたとしても陰性となる可能性があります)。



HIV検査普及週間

＜休日・平日夜間検査日程表＞

● 平日夜間検査

保健所	実施日	時間	予約期限	備考
指宿 ☎ 0993-23-3854	6月1日(木)	17:00～19:00	5月31日(水)17:00	
加世田 ☎ 0993-53-2315	6月6日(火)	17:15～19:00	6月5日(月)17:15	
川薩 ☎ 0996-23-3165	6月5日(月)	17:00～19:00	6月2日(金)17:00	
出水 ☎ 0996-62-1636	6月7日(水)	17:00～19:00	6月6日(火)17:00	
大口 ☎ 0995-23-5103	6月6日(火)	17:00～19:00	6月2日(金)17:00	
始良 ☎ 0995-44-7956	6月2日(金)	17:00～19:00	6月1日(木)17:15	
志布志 ☎ 099-472-1021	6月6日(火)	17:00～19:00	6月5日(月)17:00	
鹿屋 ☎ 0994-52-2106	6月5日(月)	17:00～19:00	6月2日(金)17:00	
屋久島 ☎ 0997-46-2024	6月1日(木)	17:00～19:00	5月31日(水)17:00	
名瀬 ☎ 0997-52-5411	6月1日(木)	17:15～19:00	5月31日(水)17:00	
徳之島 ☎ 0997-82-0149	6月5日(月)	17:00～19:00	6月2日(金)17:15	

● 休日検査

保健所	実施日	時間	予約期間	備考
伊集院 ☎ 099-273-2332	6月3日(土)	13:00～15:00	5月31日(水)17:00	
西之表 ☎ 0997-22-0018	6月4日(日)	10:00～12:00	6月2日(金)17:00	
鹿児島市 ☎ 099-803-7023	6月4日(日)	13:00～16:00	5月19日(金)8:30～ 6月1日(木)17:15	詳細は、鹿児島市の ホームページに掲載

- HIV検査普及週間中（6月1日～6月7日）、休日・平日夜間にも無料で検査ができます。
- 検査を受けるには予約が必要となります。管轄の保健所に電話で予約をお願いします。

夏に流行する感染症にご注意ください

- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・経口(糞口)感染

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に現れる水疱性の発疹(水ぶくれ)を特徴とした、急性のウイルス性咽頭炎です。突然の発熱に続き咽頭痛が出現し、次に咽頭粘膜に発赤、小水疱が現れます。通常は2～4日で解熱し、状態が回復します。発熱性けいれんや咽頭痛による拒食や脱水を伴う場合がありますが、ほとんどの場合は予後良好です。回復後も2～4週間は便からウイルスが検出されることがありますので、注意が必要です。

原因病原体:エンテロウイルス属(主にコクサッキーウイルスA群)

ヒト-ヒト感染:あり

症状:咽頭痛, 水疱(最大5mm), 発熱

潜伏期:2～4日

流行時期:夏(5月から増加, 7月がピーク)

年齢層:5歳以下が90%以上を占め, 1歳代が最も多い



- ・おむつ交換など便を扱ったあとは手洗いを!
- ・洗濯物は日光で乾かしましょう!

- ・飛沫感染
- ・接触感染

咽頭結膜熱

警報発令中!

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭痛、眼症状を主とする急性ウイルス性感染症です。発熱の次に頭痛、咽頭痛などの風邪症状および眼症状(充血や眼痛、流涙、めやに)が現れます。眼症状については片方から始まり、その後、他方にも出現します。症状は3～5日程度で回復しますが、生後14日以内の新生児に感染した場合、重症化する場合があるので注意しましょう。

原因病原体:アデノウイルス

ヒト-ヒト感染:あり

症状:咽頭痛, 水疱(最大5mm), 発熱

潜伏期:5～7日

流行時期:夏(6月から増加, 7月～8月がピーク)

年齢層:約60%が5歳以下 ※生後14日の新生児は重症化する可能性あり



- ・流水とせっけんによる手洗い, うがいを!
- ・プールからあがったらシャワーをしっかりと浴びましょう!
- ・タオルなどは別で使いましょう!